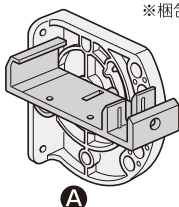
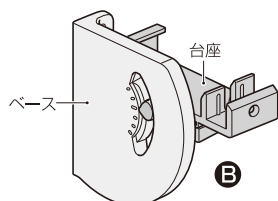


●本体(A・B)……………各1個

※梱包の中には、次の部品が入っています作業前にお確かめください。



●木ねじ①(3.8×38)(本体固定用)……………4個



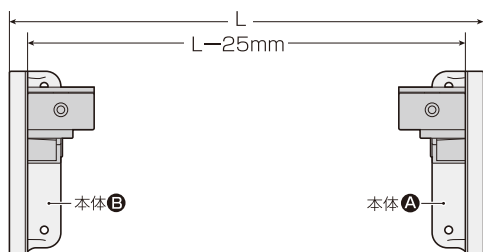
●木ねじ②(3.8×51)(前板固定用)……………2個



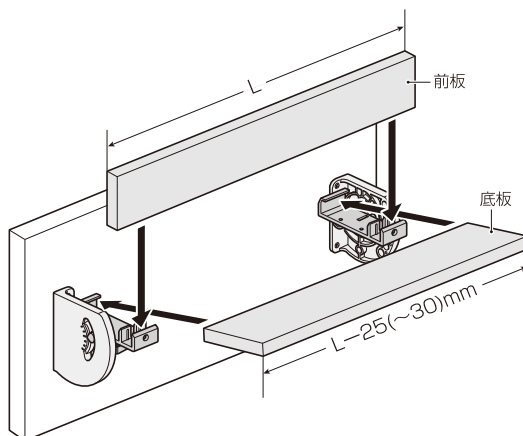
●木ねじ③(3.8×25)(底板固定用)……………4個



## ■取り付け板の寸法取り



- 市販のワンバイ材長さは取り付け箇所の幅L寸法で決めます。
- 前板用(ワンバイ材)は、幅Lでカットします。
- 底板用(ワンバイ材)は、幅Lより25～30mm短くカットします。



## 適用ワンバイ材

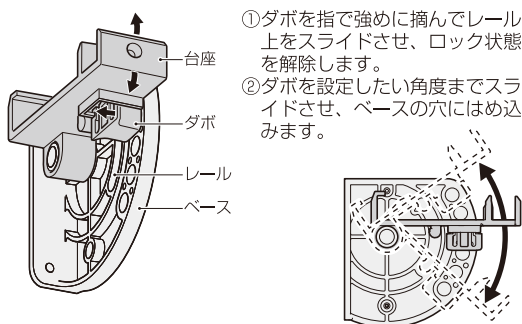
- 底板：  
1×4～1×8材
- 前板：  
1×2～1×4材

## ワンバイ材の寸法

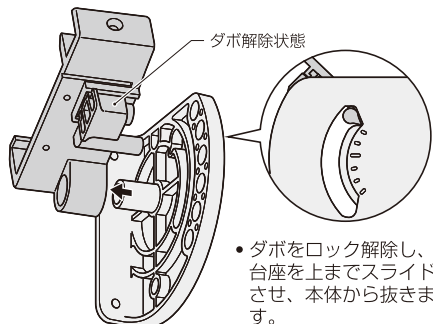
| 厚さ    | 幅     |
|-------|-------|
| 19mm± |       |
| 1×2材  | 38mm  |
| 1×3材  | 63mm  |
| 1×4材  | 89mm  |
| 1×6材  | 140mm |
| 1×8材  | 184mm |

※表記の寸法は、実寸法と誤差がある場合があります。ご注意ください。

## ■台座の角度調整方法



## ■台座の取り外し方法



## 許容静荷重(片側)： 200N(20kgf)

※取り付け面や使用状況等によって条件が異なるため、数値は保証するものではありません。

※使用する木材種や、木材の長さによって、棚板の強度が変化します。設置後のたわみ等の状況を確認し、危険がない範囲でご使用ください。

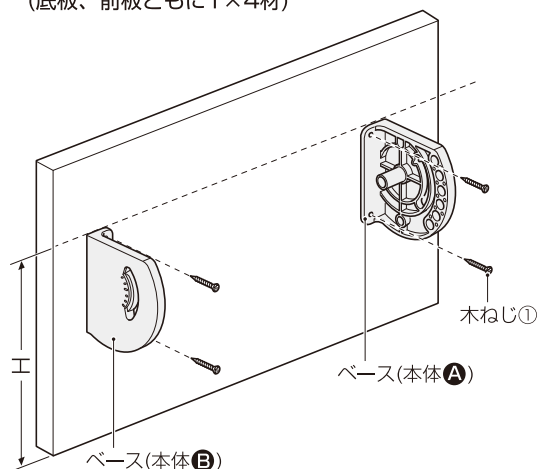
(例)1×4サイズ、長さ1mのバイン材を使用した際、棚板中央に10kgの物を置くと5mm程度のたわみとなります。

## ■使用上のご注意

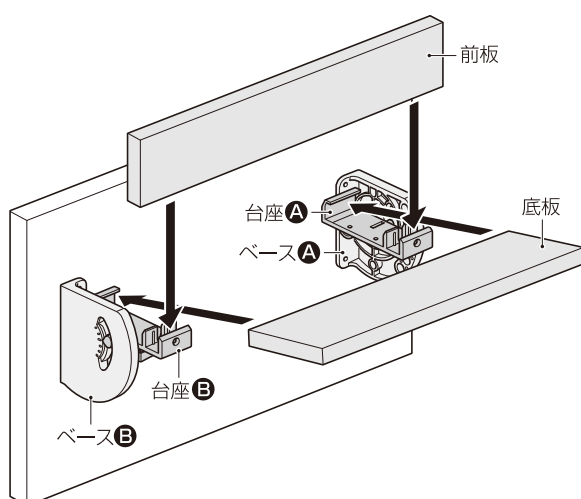
- できるだけ、そりや曲がりの少ないワンバイ材をご使用ください。※反りが大きいと台座角度調整時のダボの動きが固くなる恐れがあります。
- 本体の取り付けは、十分に強度を持った面にご使用ください。
- 木材以外への取り付けの場合は、取り付け面に適したねじ等を使用してください。
- 屋外で使用する場合は、木材の防腐処理を行い、定期的なメンテナンス及び交換を推奨します。
- 万一来、棚には貴重品、危険物、破損し易い物を載せないようにしてください。
- 角度調整時に、棚に載せた物が落下しないようご注意ください、怪我の恐れがないよう使用してください。
- 棚板や製品のエッジ部や角度調整時の挟まり等、怪我のないよう十分注意してください。
- 手や足をかけるなど大きな荷重をかけないようにしてください。
- 天災や経年劣化、当社から説明のない改造、誤った使用方法による破損、事故に対する保証はいたしかねます。

## ■施工例.1

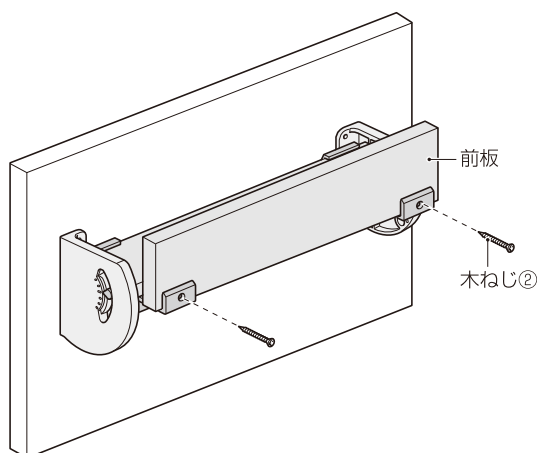
(底板、前板ともに1×4材)



1. 本体A、B各々の台座を取り外し、ベースを取り付けたい箇所に高さHを揃えて添付の木ねじ①で固定します。



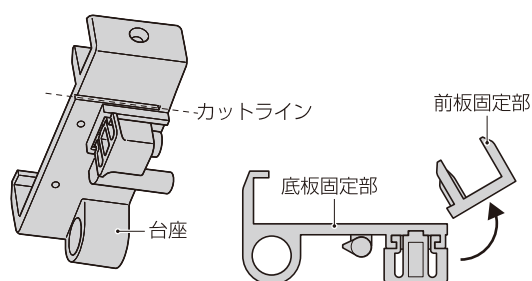
2. ベースA、B各々に台座をはめ込み、任意の角度で固定し、底板、前板の順にはめ込みます。  
※台座には方向性がありますので、必ず外した元のベースに取り付けてください。



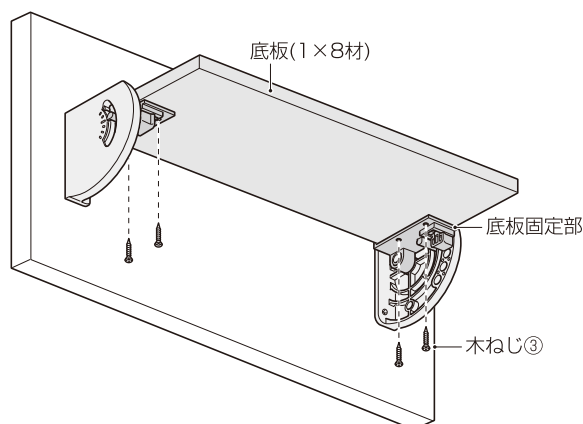
3. 前板を添付の木ねじ②で固定します。  
※下穴φ2～2.5加工を推奨。

## ■施工例.2

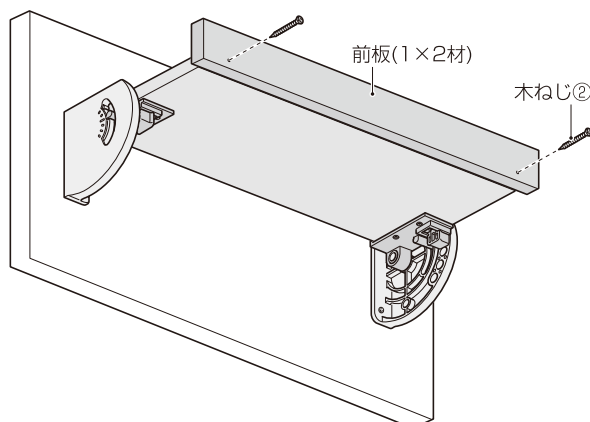
(参考例：底板(1×8材)、前板(1×2材)の組み合わせ)



1. 台座をベースから外し、カットラインに沿って前板固定部を切断します。



2. 折り取った底板固定部をベースにはめ込み、任意の角度で固定します。※台座には方向性がありますので、必ず外した元のベースに取り付けてください。
3. 底板を台座にのせ、添付の木ねじ③で固定します。



4. 前板を添付の木ねじ②で固定する  
※下穴φ2～2.5加工を推奨。  
※棚板が長い場合は、たわみ等で隙間ができる恐れがあり、ご使用状況に合わせ、中間部にも木ねじ固定をするなど補強をしてください。

- 背面固定だけでなく、側面でも固定できます。

※木ねじ固定前に、本体にドリル等で貫通穴を開けてください。

